

## 計画改定に係る実態調査について

対象者	調査方法	調査内容
子ども（一時保護、施設入所、里親委託）	アンケート	権利擁護・意見表明等支援に係る理解度・認知度・利用度・満足度、現在の生活に対する意見、社会的養護の取組みに対する意見（小学生以上を想定）
子ども（施設入所）	子ども会議の開催	施設での生活に対する意見、社会的養護の取組みに対する意見
子ども（長期間の一時保護）	ヒアリング	保護所での生活の良い点・悪い点、今後受けたい支援
里親	アンケート	里親に関心をもってから登録までの経緯、里親になるまで及び里親登録後のサポートについて、委託後の困りごと、今後受けたいサポート、社会的養育についての認識
施設	照会、ヒアリング	小規模化・地域分散化の状況、多機能化（里親支援、家庭支援事業、妊産婦等支援）の意向、施設の人材確保・育成の状況、社会的養育についての認識、県への要望
児童相談所	アンケート、ヒアリング	相談・ケースマネジメントにおける課題、関係機関との連携に係る課題、研修に対する要望、社会的養育についての認識、児童相談所の仕事の魅力と課題
ケアリーバー	自記式・他記式調査及びインタビュー（委託により実施）	里親委託又は施設入所措置され、15歳になる年度以降に措置解除等された者で、調査年度末の年齢が19歳、23歳、27歳、31歳の者の①基本属性、②社会的養護の状況、③措置解除時の状況、④現在の生活状況、⑤措置解除前後のケア、⑥現在の状況
市町村	照会、ヒアリング	地域の現状（資源の必要量等、現在の整備・取組状況等、整備すべき見込量等）、家庭支援事業の現状と必要量、児童養護施設等との連携へのニーズ、児童家庭支援センターへのニーズ、県への要望
一般	パブリックコメント	計画改定案全般に対する意見